



学校運営協議会だより

第5号

一貴山小学校運営協議会
令和8年2月10日

◆2月4日 学校運営協議会 協議内容◆

協議会では、学校より次の4点について説明をしました。

○子どもたちの様子

後期後半の学習の様子を紹介しました。また、標準学力調査の結果についても概要を説明しました。

【学力調査結果の概要】

- ・全学年とも国語科に伸びが見られたこと
- ・特に、国語科の思考・判断・表現の力に伸びが見られたこと
- ・学校全体では、国語科よりも算数科の学力が高いこと



〈いよくまんまんに学ぶ〉
赤ペン先生

○後期学校経営の評価

学校教育の児童、教員、保護者アンケートの結果から、後期の学校経営について説明しました。

- ・「地域への愛着」や「地域を生かした教育」に関して児童、教師、保護者のいずれも評価が伸びていたこと
- ・次年度は「児童の表現力を培う教育活動」や「自分の目標に向かって意欲的に取り組む活動」「主体的、創造的、協働的な学び」を推進すること
- ・次年度は、①わかる楽しさ、できる喜びのある全員参加の授業づくりや②児童、保護者、地域とつながることで、児童が安心し、「学校に来ることが楽しみ」と思う一貴山小にしていくこと



〈きもちやわけを考えて行動〉
たてわりカルタ大会



〈目標をもちたくさん挑戦〉
6年生お膳座り

○次年度学校経営要綱

次年度の「学校経営要綱」と「特例により生じる学校裁量の時間」についての現段階での計画を説明しました。

◆授業参観の様子◆



【きりり2組】
プログラミングを駆使して作った「電車の改札口」を披露しました。その出来栄えに、運営協議会の方もしきりに感心してありました。

学校運営協議員さんより

- どの学年も落ち着いて学んでいますね。
- 低学年児童の発表への意欲がすばらしいですね。
- 児童のプログラミングの技術に驚きました。
次年度の「いきいきタイム」でも、今回参観した児童のように個性が伸ばせたらすてきですね。

★質疑応答・意見交流★

- Q. 次年度行われる特例により生じる学校裁量の時間によって、先生方の仕事は増えないのでしょうか。
- A. 初年度である8年度は教員の教材等の準備の時間が必要になると考えられます。ICTを駆使することで、過度な負担なく進めていきます。
- ◆ 学校運営協議員として、外部の人材も活用できるように協力していきます。
 - ◆ 高学年児童も、低学年児童のように元気よく発表する姿がたくさん見られるようになることを期待します。

学校運営協議員の皆様には、年間を通じて児童の様子をあたたく見守っていただきました。また、今年度は特に地域を生かした活動に対して、たくさんの御助言と御支援をいただきました。心より感謝いたします。